



\*\*\*\*\*

### 会の名称が決まりました

前回の学習会において、いくつかの名称の候補をあげていただき、ありがとうございました。追加してあげられた候補も含め検討した結果、次のような名称になりました。

### つくば市子育て支援かるがも・ねっと（設立準備委員会）

通称「がるがも・ねっと」のイメージ

かるがも→親子、かるがもの引っ越し→つくば市の転勤族の多さ、かるがもの引っ越しを見守る人々→子育て支援をする人々、ねっと→支援する人たちのネットワーク

これまで、子育て支援を考える会として、動いてきましたが、つくば市にある子育て支援に関わる機関・団体・サークル、ボランティアのネットワークをつくるという趣旨のもと、その設立準備委員会として会を正式に発足させたいと考えています。今後とも、よろしくをお願いします。

### ☆「地域子育て支援センター」の紹介－第1回学習会より－

今回は、つくば市にある「地域子育て支援センター」について知るといことで、かつらぎ保育園に併設されているかつらぎ地域子育て支援センターの小澤孝子先生と、桜旧庁舎にあるつくば市地域子育て支援センター「けやき広場」の喜多路江先生からお話を伺いました。それぞれの取り組みを紹介します。

#### 1. かつらぎ地域子育て支援センターでの取り組み

##### ◇内容

かつらぎ地域子育て支援センターでは、5年前に地域子育て支援センター事業を始めました。現在、0歳、1歳、2歳以上（2クラス）の、4クラスを設けています。それぞれのクラスは、だいたい月2回開いています。1クラス35組程度で、150組、300人くらいの親子がかつらぎのセンターを利用しています。ちなみに、ここに来るお母さんたちの多くは、インターネットや公園などで情報を得ているようです。そういうお母さんたちは、公民館の家庭教育学級やサークルなど、2、3ヵ所かけ持ちしているそうです。

9時半から10時半まで、制作、読み聞かせ、パネルシアター、リズム遊びなどをやっています。その後、10時半から11時までおやつタイムという形で、お母さんたちが交流できる時間を設けています。交流では、できるだけいろいろな人と交流してもらいたいので、くじ引きや子どもの誕生日などで、グループ分けをしています。そうしないと、友達同士など、決まった人しかお話をしないので。その後、園庭で遊べるようにしています。園庭開放は、参加しているお母さんたちに、安心して、安全な場所で遊べるということ、喜ばれています。

参加したいお母さんたちには、登録をしてもらい、来たいときに来てもらっています。かつらぎでは、お母さんたちが来たいときに来て、お母さん同士が話し合えて、困っていることを相談できる場所になればいいなあと思っています。また、いろいろなプログラムをやっていますが、お母さんと一緒にやってもらい、家でもつくったもので遊んでもらえたらと思っています。

##### ◇問題点

残念ながら、ここでやった内容を家でも子どもと一緒に遊んでほしいと思っても、家ではやっていないかなあと感じます。お母さんたちのなかには、おしゃべりに夢中になって、つくったものを置き忘れていく方も何人かいます。

また、本当に子育て支援を必要としている方に情報が届いているのだろうかと不安に思います。場所が限られているため、参加人数が多いときには断ってしまっています。そのため、電話で申し込みの際には、できるだけ状況を聞いて、本当に支援を必要としている方を優先的に入ってもらえるようにしています。例えば、つくばに来て3年以内とか、双子とか、友達がいないとか。そういった方には、明日からでもどうぞと声をかけています。ただ、電話をかけてくる方は、まだ安心ができるんですが、電話もかけられない方にどうアプローチしていくのが課題です。そういう方に声をかけられたらいいなあと思っています。

## 2. つくば市地域子育て支援センター「けやき広場」での取り組み

### ◇ 内容

つくば市地域子育て支援センターは、2003年度から桜旧庁舎にて独立したセンターとして事業を始めています。平成9年から14年度までは、かつらぎと同様の事業を二の宮保育所に併設した場所で行っていました。二の宮保育所での事業は、当時まだ地域の子育て支援の必要性が認識される前でした。そのため、保育所の子どもだけではなく、地域の中の親への指導もしていかなければいけないというような、保育士の意識改革をするための研修を含めて実施されました。また、20人の地域推進委員さん（民生委員、保健センターの保健師など）の協力を得ていました。ちなみ、この当時の内容は、0,1歳担当の保育士が中心になって、保育所の行事を一緒にやったり、お天気のいい日は公園に遊びに行ったりしていました。

桜旧庁舎に移ってからは、毎日開き、自由に来られるようにし、親子がそこで遊んでいたり、お母さんたちが相談したりできるようにしています。午前と午後20組ほど来ています。そのほかに、出前保育（公民館などで遊び場提供）や交流保育（保育所の子どもや豊中障害者センターに来る子どもとの交流）という形で、各公民館や児童館などで月4回ずつやっています。また、イベント的なものは月に2回実施しています。1回の参加人数はだいたい20組におさえています。イベントに関しては、申し込みをしてもらっています。今、イベント的なものを望むお母さんと、遊び場を求めのお母さんとに分かれてきています。

### ◇ 問題点

今来ている人だけが楽しいだけではなく、家にいる人をどう引っ張り出すかが問題です。イベント的なものをしているのは、お母さんたちの興味を引いて、こんな事業があるのだということを知ってもらうためです。あとは、「けやき広場」や出前保育に自由に来て、遊んで、お母さんたち同士で交流してもらえればと思っています。

子育てを知らないお母さんたちが多いように思います。例えば、離乳食を知らないとか、何をどのくらい食べさせていいのかとか、こちらが当然知っていると思うことを知らないことがあります。どうしたらいいのかということを見初めから話さないといけない。生活の深い部分まで、負担にならないように、話していかないといけない。できないのではなく、知らないのだと、そう思うようにしています。それと同時に、親同士の結びつきをつくっていくようにしています。

「おもしろおかしく、楽しい」だけで、その場が終わるのではなく、子育てへの配慮や遊びなどを知り、そこで得たことを家に持ち帰ることができる場をつくっていくことが大切だと考えています。子育ては本当に親育ちだと思います。親育ちができなければ、子育てできないと痛切に感じています。子育て支援センターは幼稚園でも保育所でもないです。子育て支援センターは、親にとっては交流の場、学びの場、子どもにとっては遊び場、育ちの場を提供していく。これを、今私たちはしていかなければいけないのかなと思っています。いつでも来られる、いつでも電話できる、新しい意味での子育ての場だと思っています。

### ♡♡お知らせ♡♡

#### ① 学習会「子育て支援における主任児童員・社会教育指導員の役割」

今回の学習会は、主任指導員の方と社会教育指導員の方から、つくば市の子育て支援における役割とそこでの問題点をお話していただく予定です。お楽しみに！！

日時：11月1日 13:30～15:30 場所：桜庁舎第2会議室（2階）

#### ② 連続講座「子育てハンドブック作成セミナー」

つくば市子育て支援モデル事業として、NPO法人ままと～ん企画の「子育てハンドブック作成セミナー」が開催されます。この先、「かるがも・ネット」で、つくば市子育て支援の関係団体の資料集やリーフレットをつくっていく際の参考になりますので、ご参加ください。（詳細は別途送られたチラシをご覧ください）

日程：11月2日（火）、11月5日（金）、11月10日（水）、12月6日（月）、12月13日（月）

時間：毎回10:00～12:00 場所：研究交流センター

主催：つくば市 問合せ先：つくば市子ども課 029-836-1111（代）

#### ③ 募集！

- ・ 学習会のテーマを募集します。聞いてみたこと、みんなで考えたいことなどありましたら、提案してください。また、学習会の記録を見ての質問やご意見もお待ちしています。
- ・ ニュースレターの作成を手伝ってくださる方を募集します。イラストを描くのが好きな方、ワープロソフトが使える方、ぜひ手伝ってください。

問合せ先：edu\_socio@yahoo.co.jp

学習会の時に声をかけて頂いても大丈夫です。

発行：つくば市子育て支援かるがも・ねっと（設立準備委員会）発行日：2004年10月18日

編集：渡辺恵 問合せ先：edu\_socio@yahoo.co.jp/FAX：029-853-4829（筑波大学教育社会学研究室）